



AICEの概要紹介


SIP革新的燃焼技術 推進委員会

2015年6月17日

AICE 理事長 大津 啓司

1. A I C E 設立の背景
2. 狙いと理念
3. 事業概要
4. A I C E の将来像
5. 更なる産学連携強化に向けて
6. まとめ

本資料中の〔 〕は非公開部分を示します。

1. **A I C E 設立の背景**
 2. 狙いと理念
 3. 事業概要
 4. A I C E の将来像
 5. 更なる産学連携強化に向けて
 6. まとめ
- 
- A decorative horizontal bar at the bottom of the slide, consisting of a gradient of blue colors, transitioning from a lighter blue on the left to a darker blue on the right.



自動車用内燃機関技術研究組合 AICE 設立

4

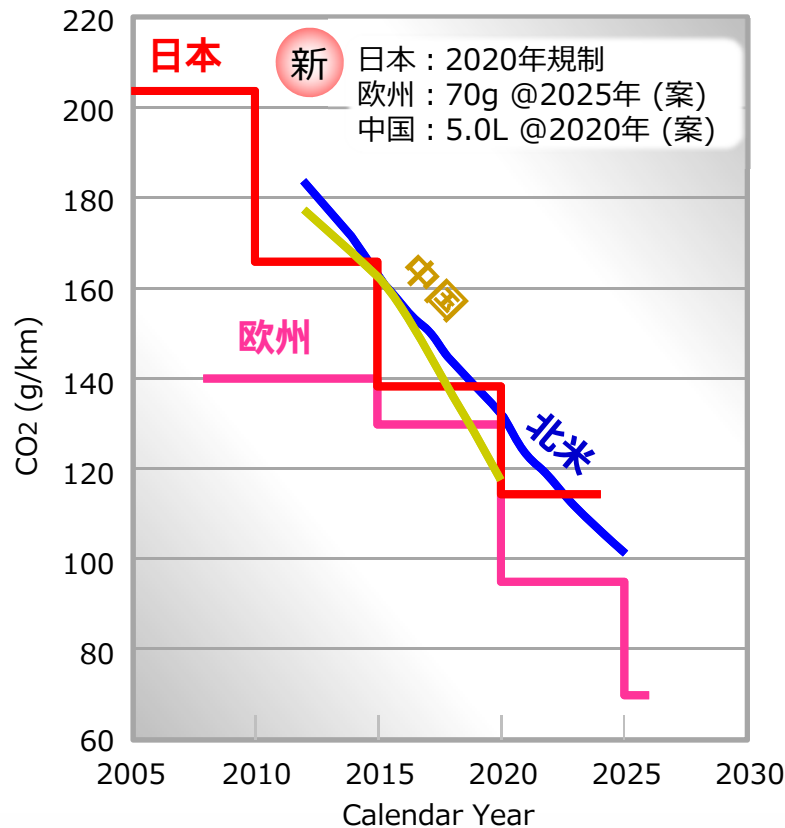
The Research Association of **A**utomotive **I**nternal **C**ombustion **E**ngines



自動車会社 9社と2団体にて運営

■ 先進国燃費規制

エネルギーセキュリティ/地球温暖化対策で
各国燃費規制強化



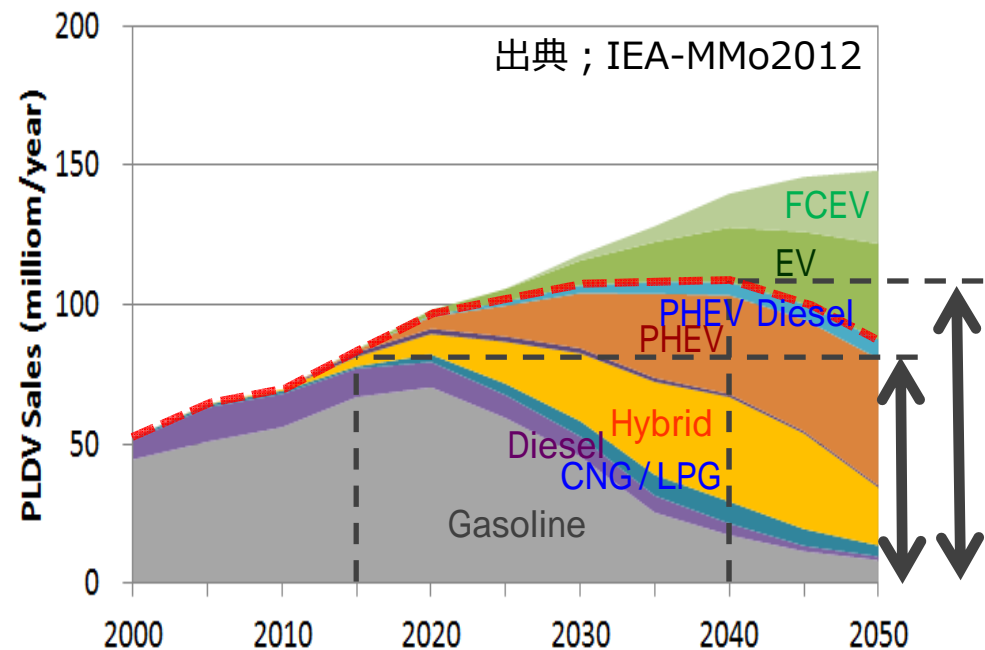
注：各国で試験条件などが異なるため数値の比較はできない

■ 燃費低減技術

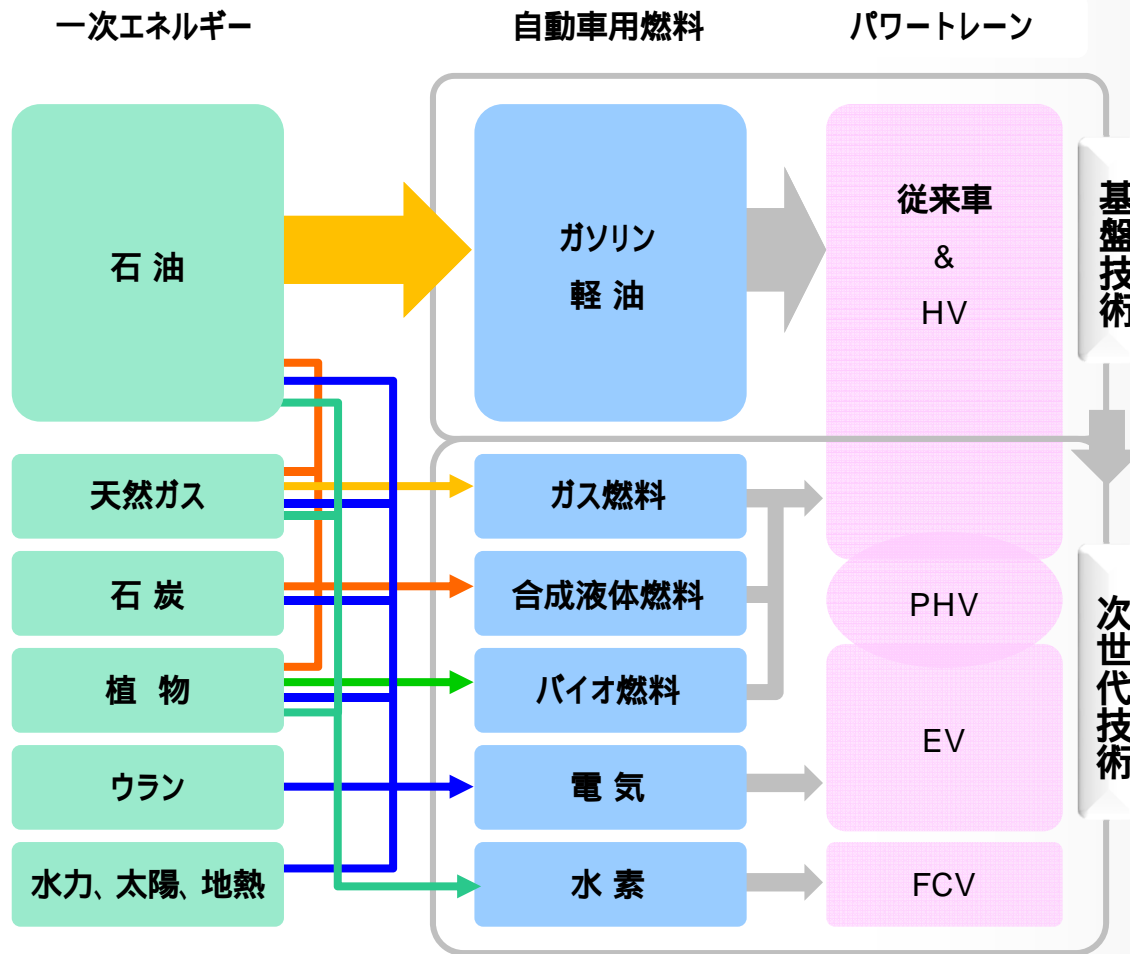
全世界の自動車販売台数予測と技術浸透割合

* 商用車を除く

Hybridを含め内燃機関は2040年まで増加



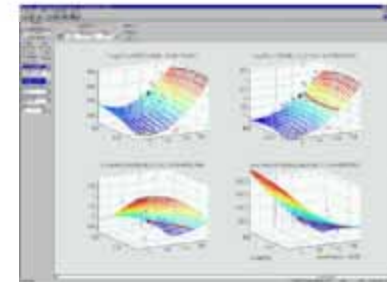
内燃機関の継続的な技術開発が必要



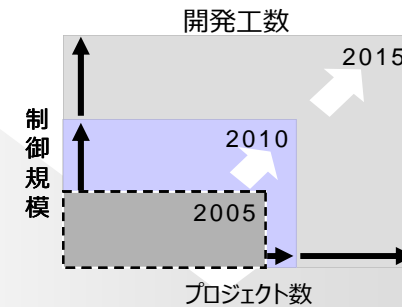
エンジンの複雑化、多様化



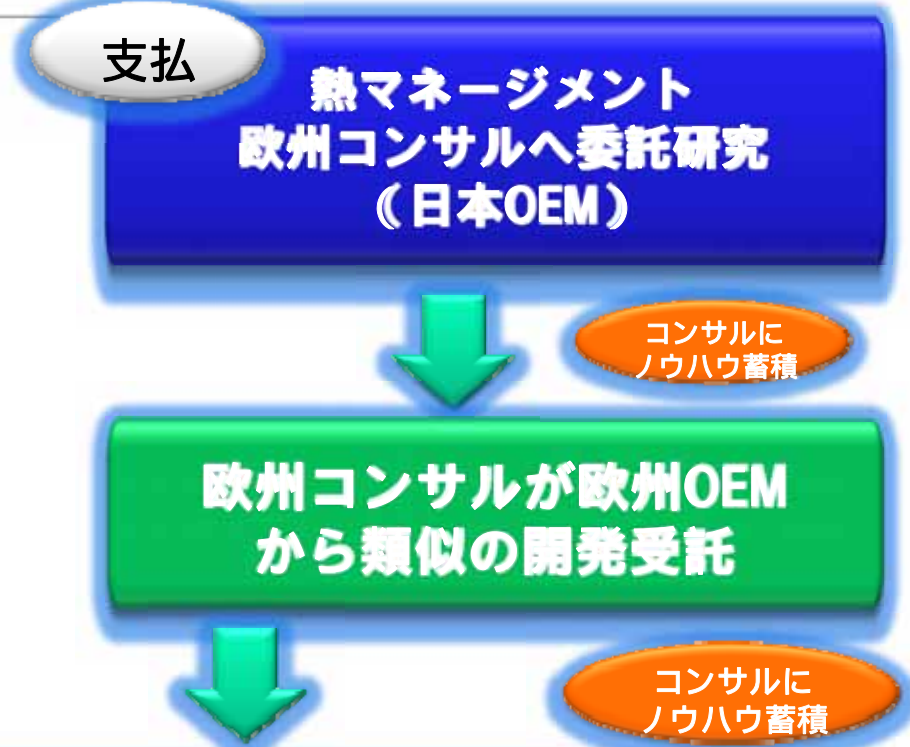
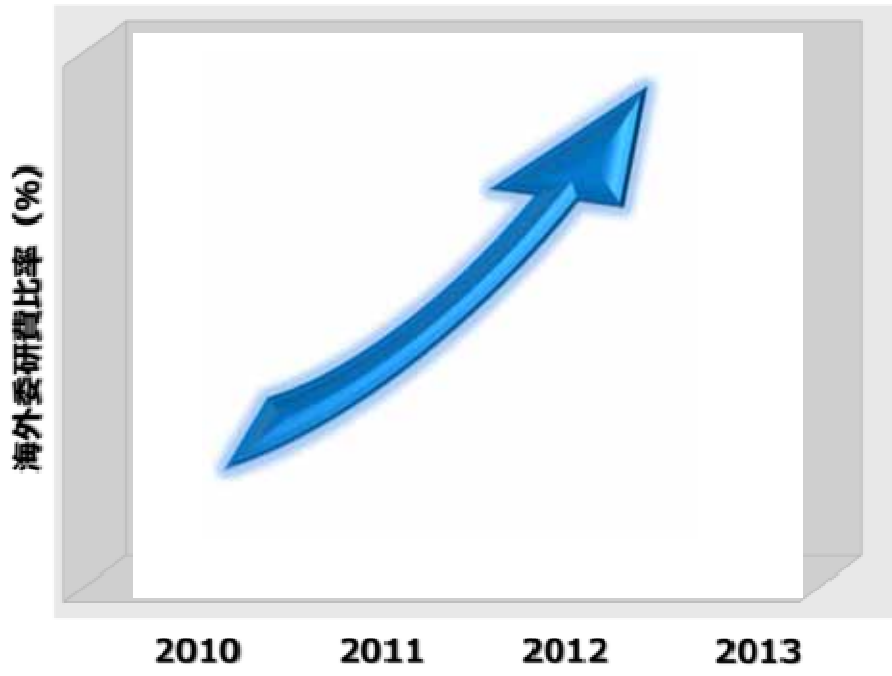
制御適合負荷の爆発的増大



増加するプロジェクト



多様化するパワートレインと、その適合開発がリソースを圧迫



支払 量産開発の熱マネ委託 (日本OEM)

コンサルにノウハウ蓄積

止まらない欧州へのお金の流れと技術の蓄積

開発能力不足を海外に求めた結果、委託費が急増し技術も蓄積できない



競争

企業：
開発負荷大、技術の遅れ
人材育成負荷大

大学：
理工離れ、将来人材の枯渇



競争

協調

産学官連携により
大学・研究機関が活躍
効率的なイノベーション
とエンジニアの育成

欧州では産学官で協調して研究の効率化とエンジニアの育成を両立

